



いちばん初めに 恐竜 を発見したのはだれ

化石集めがしゅみの医者と学者

初めて 恐竜 を発見したのは、イギリスの医者ギデオン・マンテルと、ウィリアム・バックランドという大学教授でした。

1822年、化石集めが好きだったマンテルは、石を切り出す採石場で、きみょうな形の歯の化石を発見しました。これを、大トカゲのイグアナを研究している学者に見せるところ、イグアナの歯にそっくりとわかり、絶めつしたは虫類の歯ではないか、ということになりました。1825年、マンテルは化石の歯の動物名を、イグアナドンと名前をつけ、地理学会で発表しました。

オックスフォード大学の地質学者バックランドは、採石場で発見された、巨大なのこぎりのような歯の化石を調べ、巨大なトカゲの歯である、と地質学会で発表しました。このころは、恐竜 という動物の仲間がいたことがわかっていなかったのも、虫類の中の、巨大なトカゲの仲間であるとされていました。

科学的に 恐竜 がいたことがみとめられた

1841年に、イギリスの考古学者オーエンが、イグアナドンなどが、虫類であっても、ほかのものとはずいぶんちがうということで、新しい分類のグループとして、「ダイノサウリア」(恐竜)と名づけました。

マンテルやバックランドの発見より前から、恐竜の化石が見つかってはいたはずですが、巨人の骨とか、伝説の竜の骨などと思われていたのです。(監修・今泉 忠明)

